

# 草原再生5年間の結果と今度について

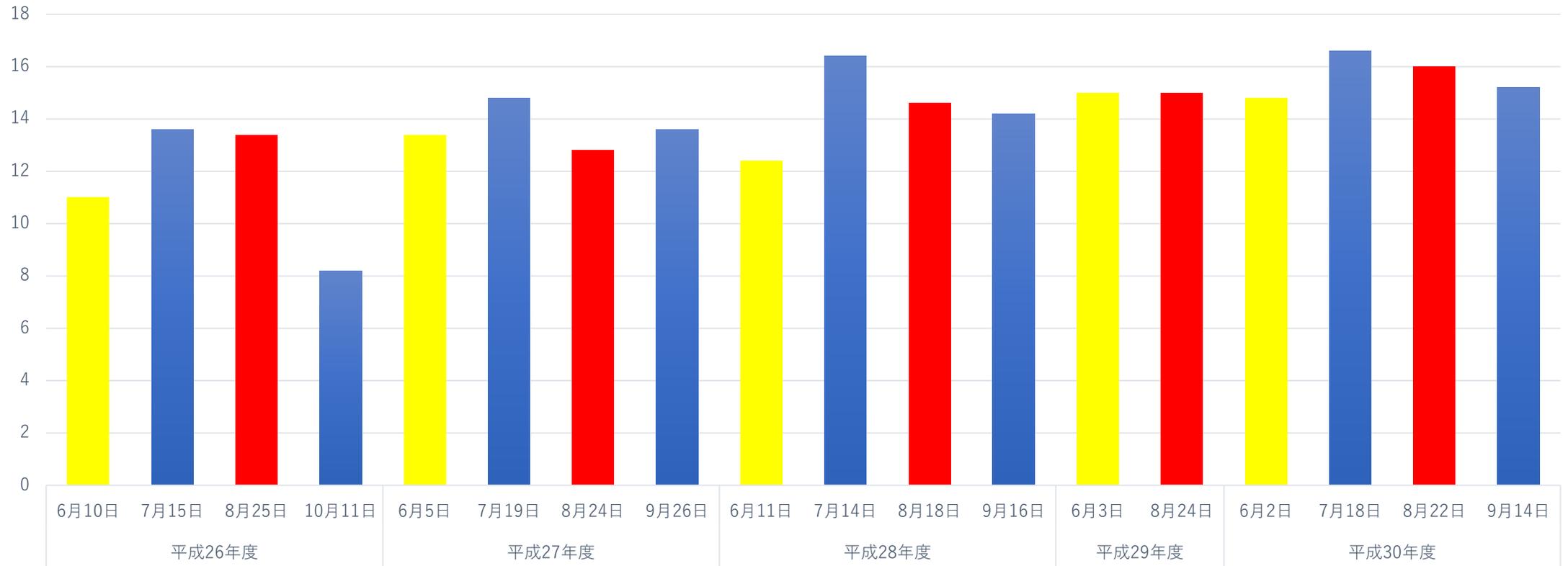
- ① ススキ草原・ササ草原の刈り取り
- ② ハルザキヤマガラシの駆除

2018年度

霧ヶ峰生物多様性研究会  
土田勝義

# ススキ定置枠の種数変化

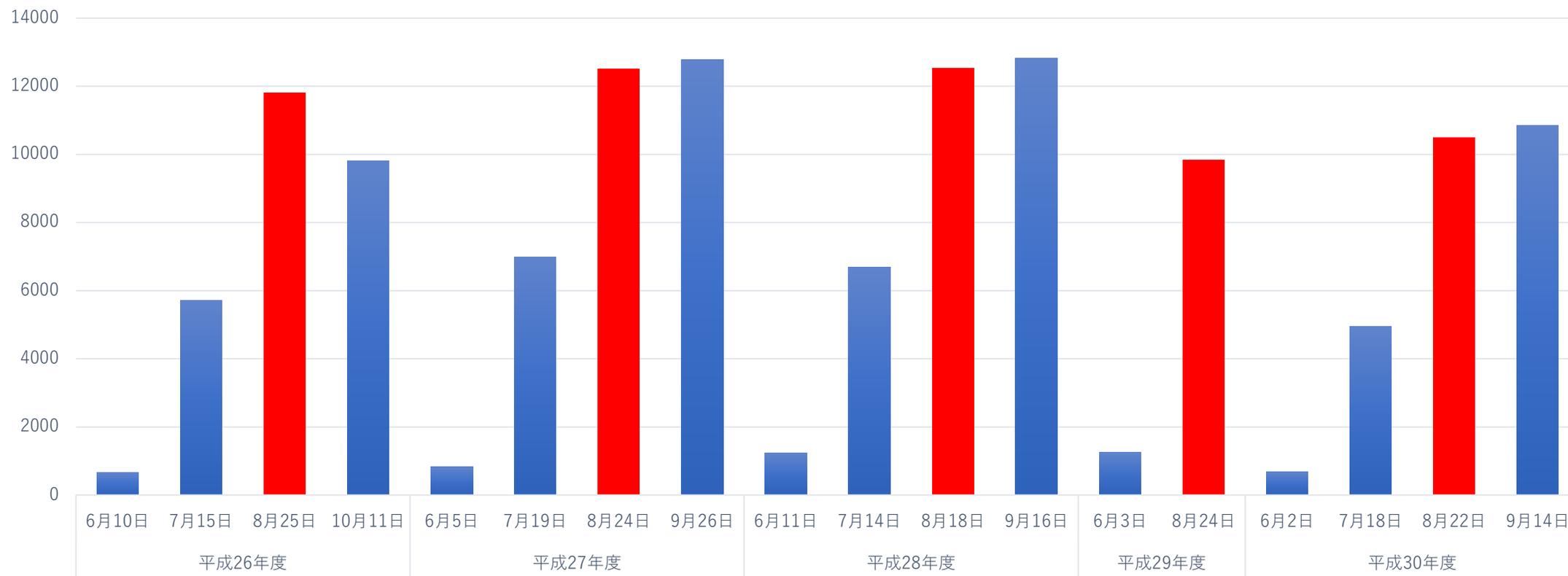
種数平均値



各年、各月で数種増えてきている

# ススキ定置枠の全出現種の優占度合計の変化

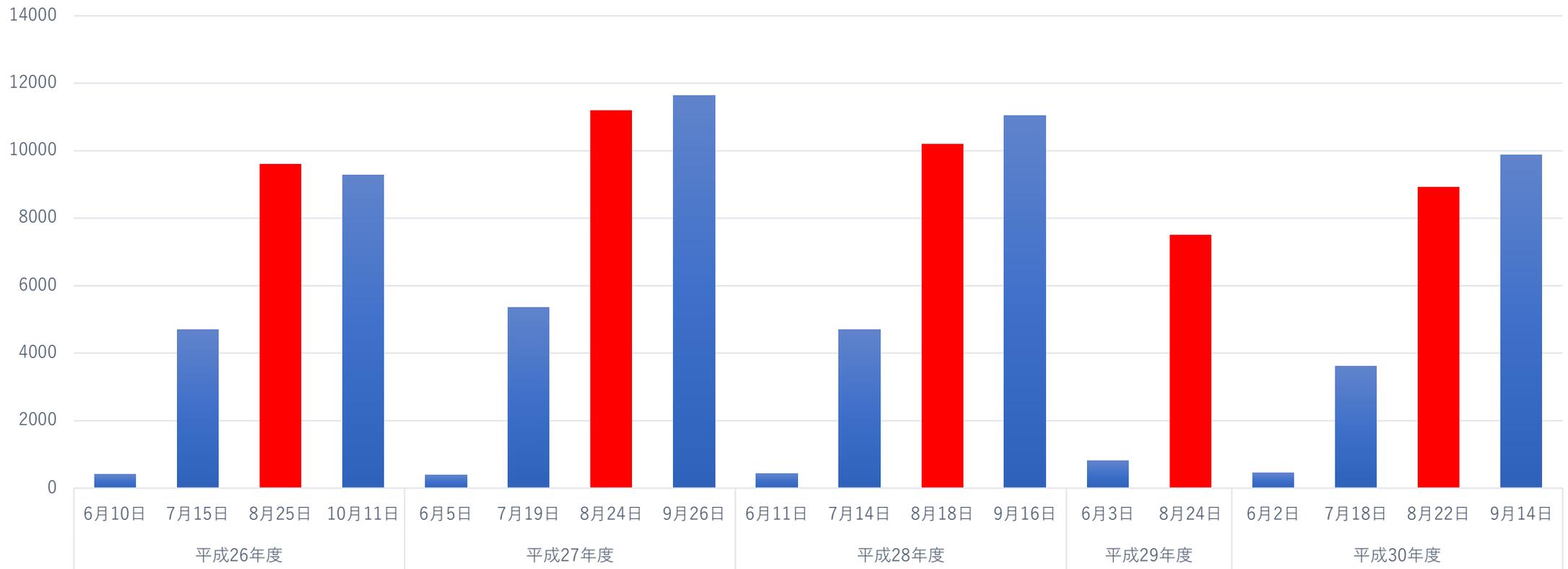
全種のMD合計平均値



植物量は減っているがススキの減少に伴っている

# ススキ定置枠のススキの優占度の変化

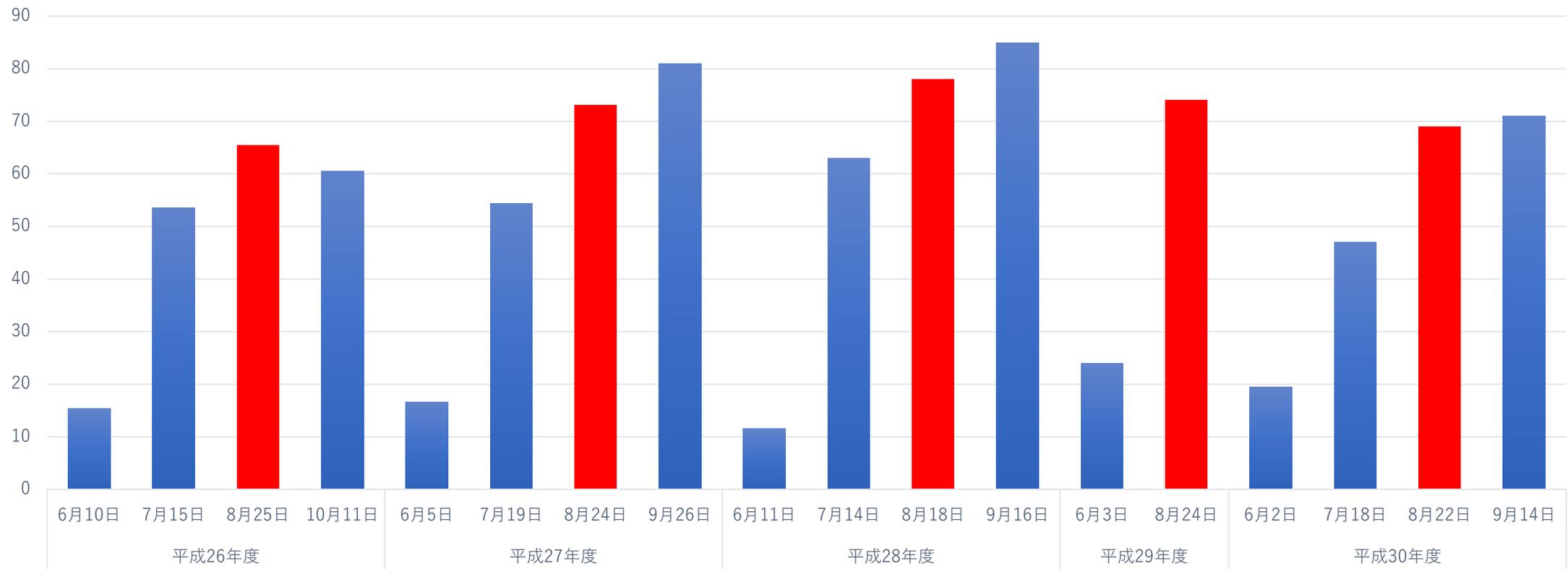
ススキのMD合計平均値



初年度と5年度はほぼ同じ、2、3年度は増加。4年度で減少に転じる

# ススキ定置枠のススキの被度の変化

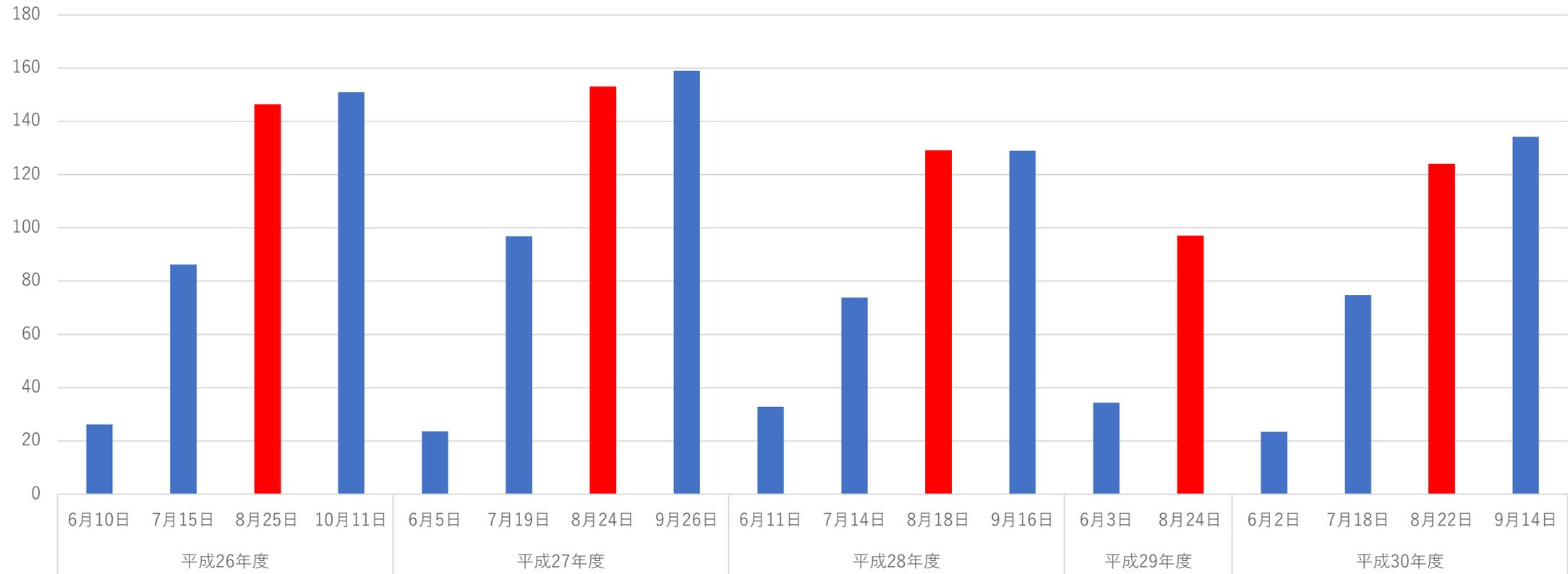
ススキの被度平均値



被度は初年度よりやや増加がみられるが、2、3年度はもっと増加していた。

# ススキ定置枠のススキの高さの変化

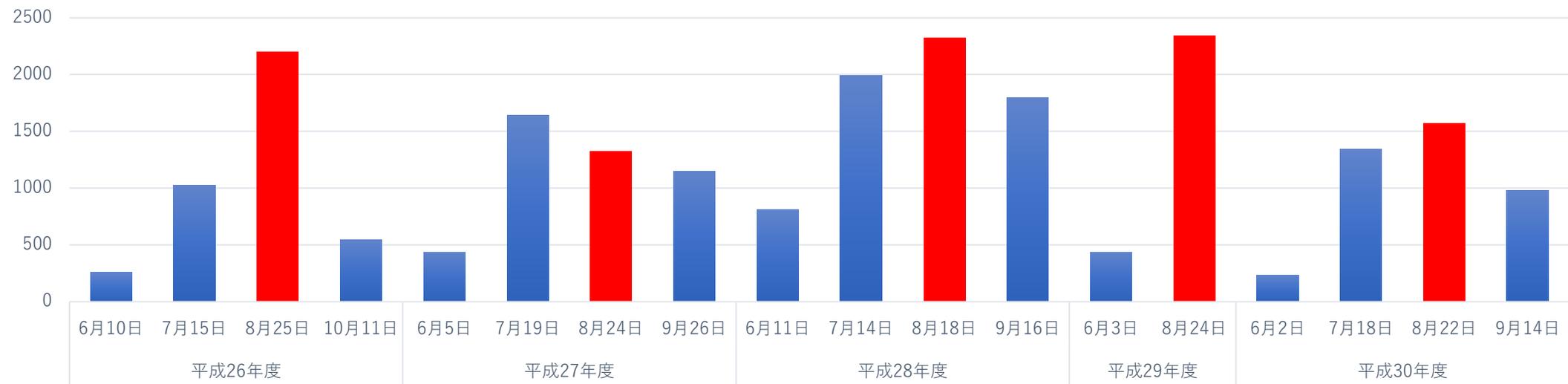
ススキ高さ 平均値



高さは減少傾向にある

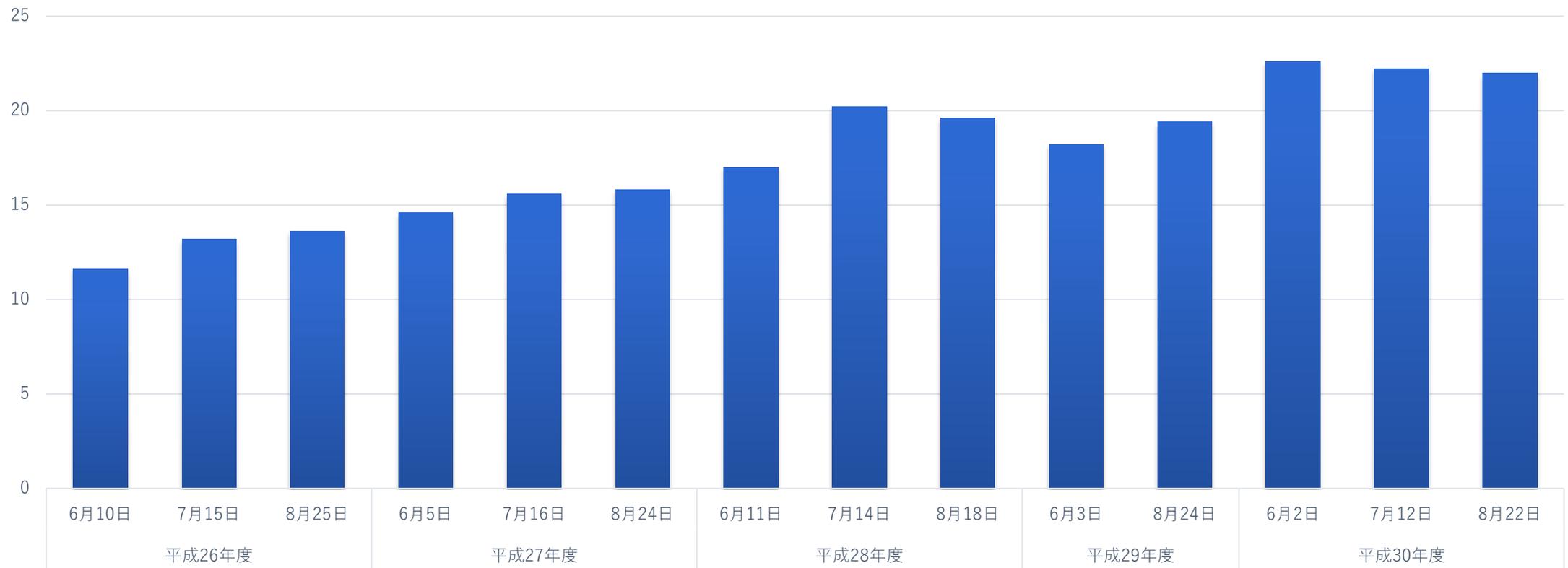
# ススキ定置枠のススキ以外の優占度合計の変化

ススキ以外のMD合計平均値



# ササ定置枠の出現種数の変化

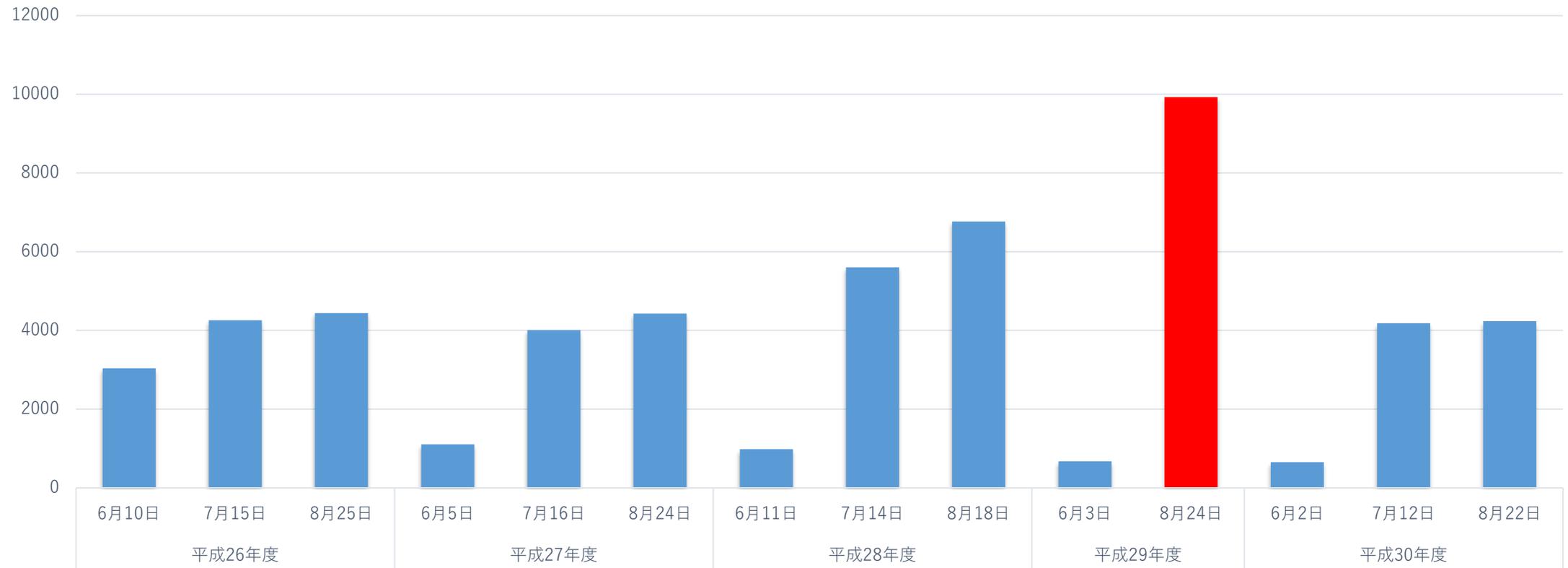
種数平均値



出現種数は毎年、各月ともかなり増加傾向にある。5年度に10種程度増加

# ササ定置枠の全種の優占度合計の変化

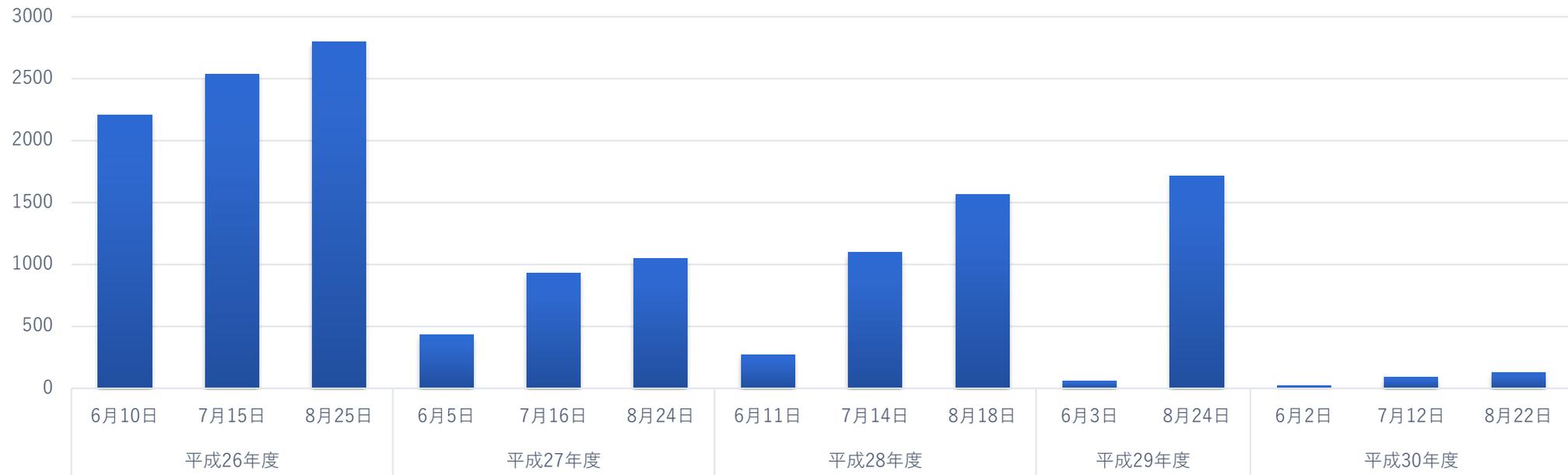
全種のMD合計平均値



植物量は4年度まで増加。5年度に減少した。刈り取り強度か？

# ササ定置枠のササの優占度の変化

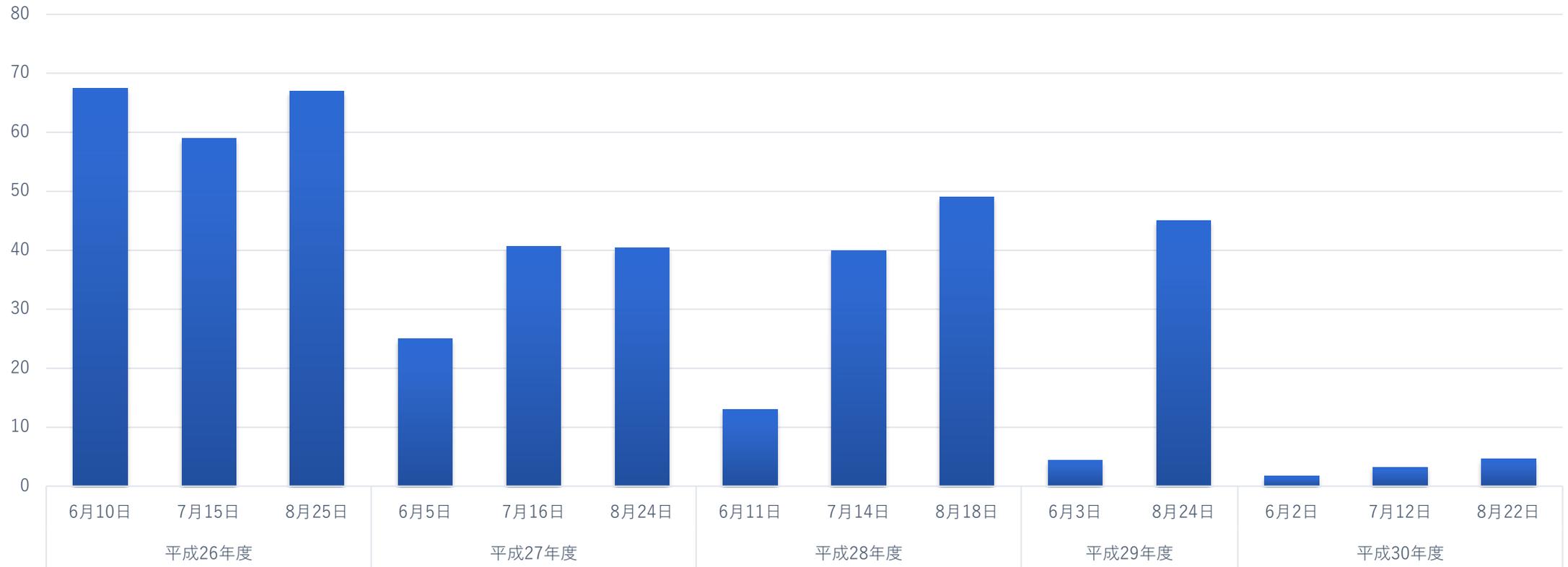
ニッコウザサのMD合計平均値



2年度で大きく減少。5年度で相当減少。4年度で刈り取りが効く。

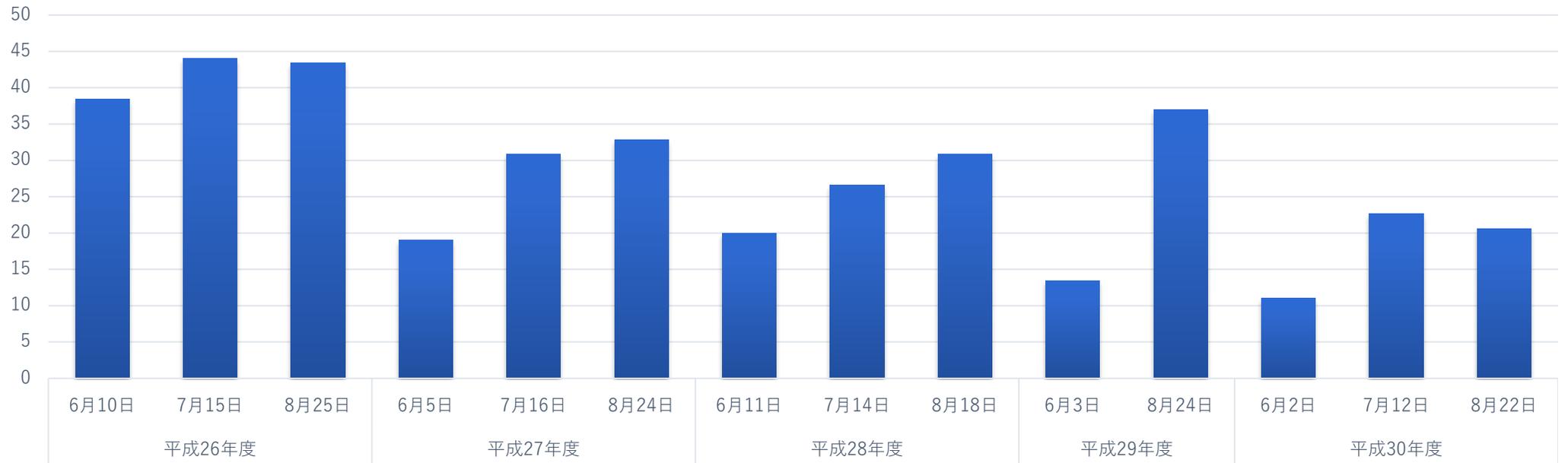
# ササ定置枠のササの被度の変化

ニッコウザサの被度



# ササ定置枠のササの高さの変化

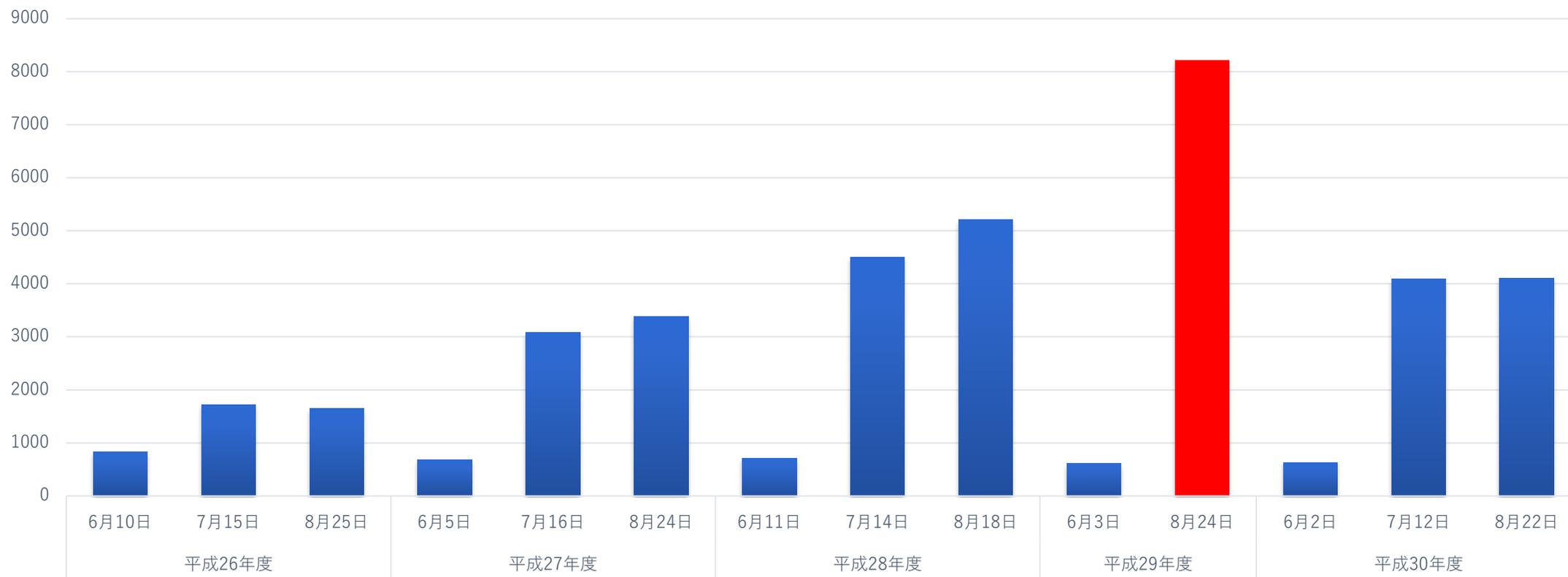
ニッコウザサの高さ



高さは漸度減少。5年度に半分程度となる。

# ササ定置枠のササ以外の植物の優占度合計の変化

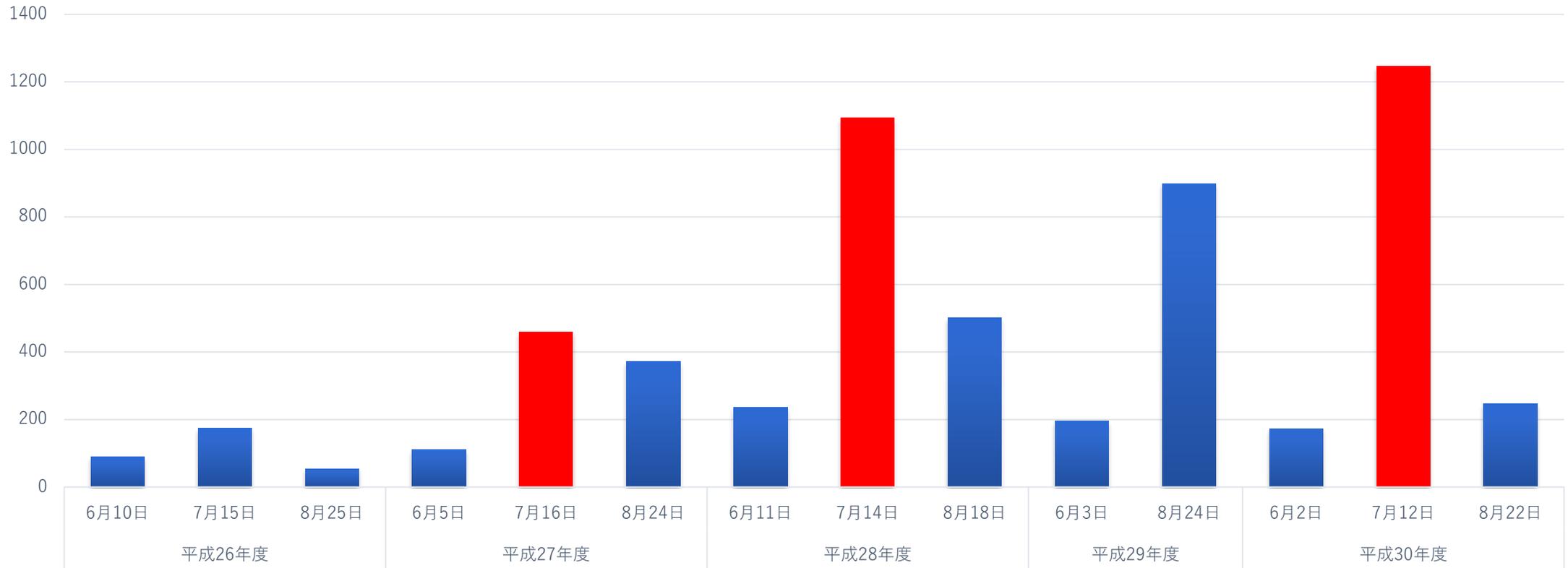
ニッコウザサ以外の植物のMD合計平均値



ササ以外の植物の量は4年度まで増加。5年度に減少。刈り取り圧？

# ササ定置枠のニッコウキスゲの優占度の変化

ニッコウキスゲのMD合計平均値

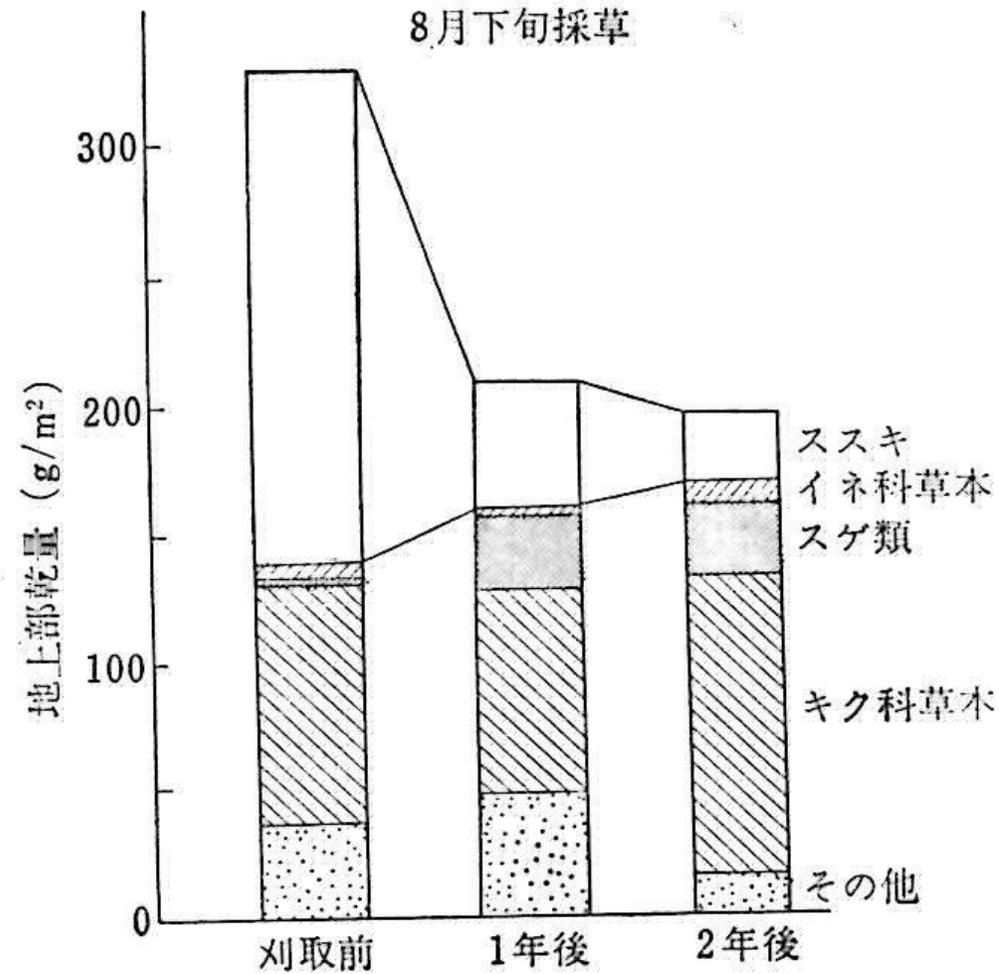


年々増加している。果実も出来てきた。

# 刈り取りによる草花の咲くススキ草原の創成

1. 今度も9月に刈り取りを継続する場合・・・あと数年間（さらにススキの勢力を抑える）
2. 8月に刈り取りを行う（3年間）
3. 継続刈り取り区を休止し、他の区を輪かん方式で刈り取りする（刈り取り区を広げる）。

# 参考霧ヶ峰ススキ草原の8月刈り取り (2年連続) の事例：昭和30年代(翠川、宝月他)



## 参考

# 阿蘇のススキ草原

毎年3月に野焼き

- ① 枯草を焼き除去するとともに地表面を明るくする
- ② 低木を焼き森林化を防ぐ
- ③ 黒い焼灰による地熱の高温化、栄養塩類の供給
- ④ ススキや他の草本類の生育を促す

# 阿蘇のススキ草原の種類

## 1. 採草地（牛馬の飼料）

- ・ 8月刈り取り（夏草刈り）
- ・ 牛馬の干し草（栄養価高い）
- ・ ススキの地下部に栄養があまりたまらず、翌年のススキの生長を抑え明るい群落空間となる
- ・ 多様な野草が共生する  
ハナシノブ、ヒゴタイ、ヤツシロソウ、ツクシマツモトなど阿蘇特有植物含む

## 2. 茅野（茅葺屋根利用）

- ・ 晩秋～冬の刈り取り：乾燥したススキで茅葺屋根に使用
- ・ ススキの地下部に栄養分が多くあるので翌年はススキ優占の単調な草原となる

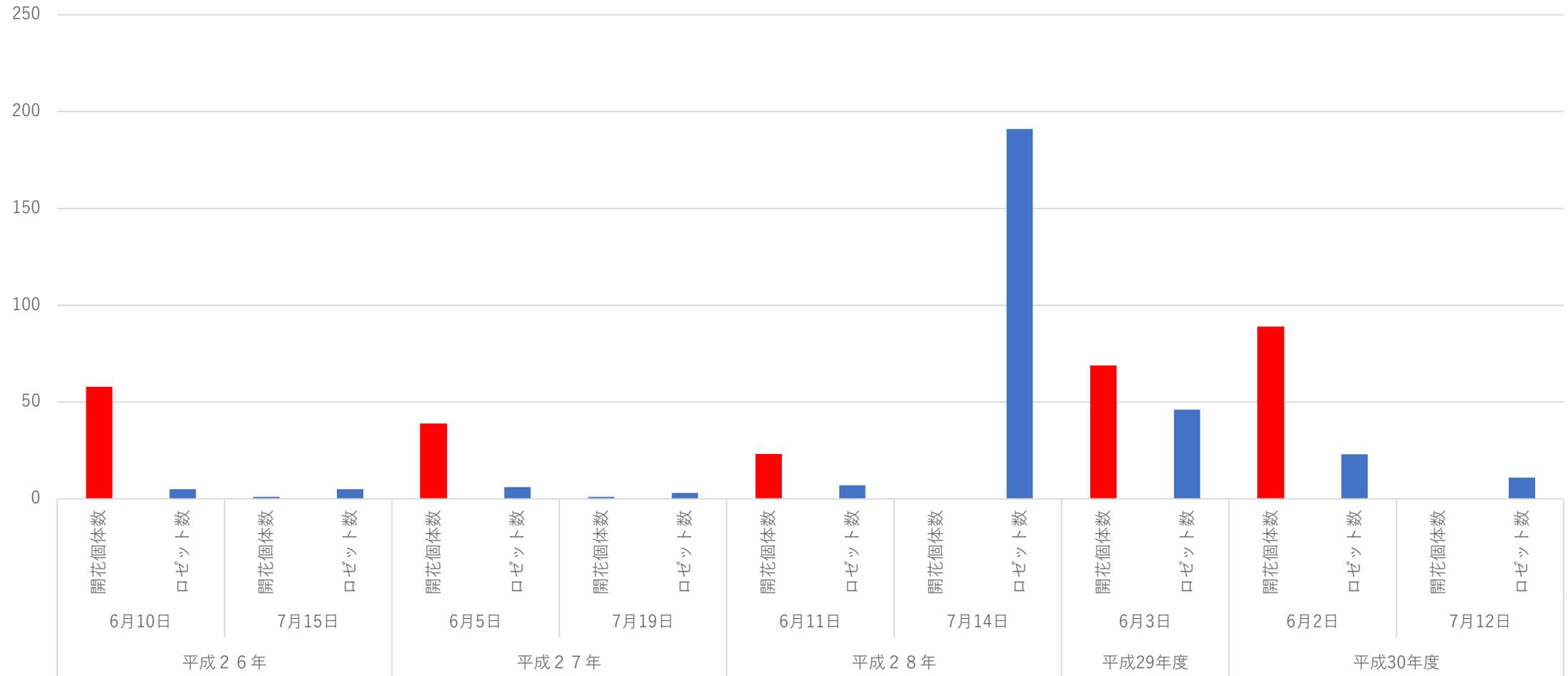
# 刈り取りによる草花の咲くニッコウザサ 草原の創成と維持

1. 毎年9月上旬に刈り取りする。刈草は除去する。
2. 3年程度継続して刈り取りする。
3. その度休止して他の区画を3年程度刈り取りする。
4. ほぼ3年程度で輪かんして刈り取り区を変えていく。
5. 休止期間は数年とするが、ササやニッコウキスゲの生育状態を見ながら刈り取りの再開時期を決定する。

# ハルザキヤマガラシの駆除（定置枠2018年6月）



# ハルザキヤマガラシ定置枠の個体数の変動



3年度の7月のロゼット数増加により4、5年度の開花数（6月）の増加がみられる

# ハルザキヤマガラシの駆除の今度

1. 全面的には難しいので、除去区を設定して継続して刈り取る。
2. 駆除時期は開花前、開花早期の6月中に行う。
3. 刈り取りは個体ごと根元から刈り取る、また群落となっているのは草刈り機で刈り取る。刈草は除去する。
4. 今度の刈り取り作業をどうするか検討する。